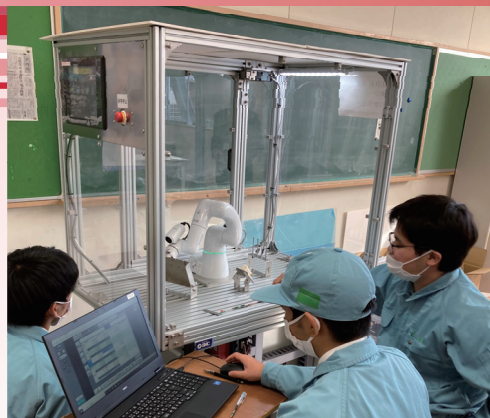


高校生ロボットSIリーグ

動かすのは、きみの未来だ。

参加校
募集!



高校生がモノづくり現場の自動化を担うロボットシステムインテグレータ（ロボットSler）の仕事を経験しながら、ロボットシステム構築の課題に取り組む競技会を愛知県が2022年から開催します。

参加チームはロボットSler企業やロボットメーカーのサポートを受けながら、約8か月間かけてロボットシステムの構築に取り組み、その成果をイベントで披露します。

この競技会を通してロボットSler人材の創出を目指しています。

募集概要

- ▶ 参加資格: 最大10名の生徒でチームを編成することができる日本国内の高校
- ▶ 募集チーム校数: 9校
- ▶ 募集期間: 2022年2月14日(月)から2月28日(月)まで
- ▶ 申込方法: 参加を希望する高校は、愛知県のWebサイトから「参加チーム校申込書」をダウンロードし必要事項を記入の上、メール提出
Webサイト <https://www.pref.aichi.jp/site/robot-si-league/recruit2022.html>
提出先 robotconv@pref.aichi.lg.jp

問い合わせ先

愛知県経済産業局産業部産業振興課ロボット国際大会推進室
企画・調整グループ

電話: 052-954-6698 E-mail: robotconv@pref.aichi.lg.jp

愛知県の
Webサイトは
こちらから→



- ▶ 活動に伴う費用負担について: ロボットの設置や運搬の費用を愛知県が負担するだけでなく、大会の準備にかかる費用の一部も活動支援金として支給します。

ロボットシステムインテグレータって?

工場等のモノづくり現場では、人手不足や新型コロナウイルス感染症の影響により、自動化や省人化が求められています。

モノづくり現場を自動化するには、産業用ロボットを活用し、

製品の加工条件や
現場環境の把握

最適な
作業工程の設計

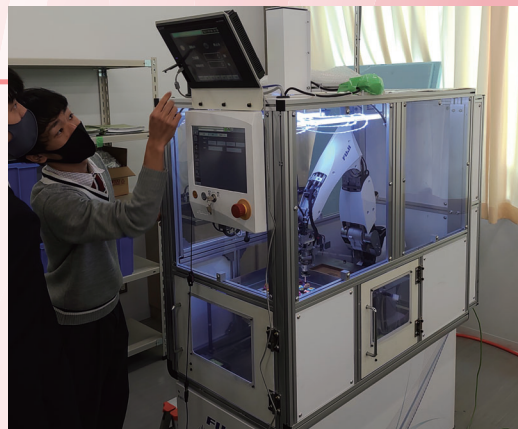
最適な機械や
部品の調達・製作

ロボットや装置の動きを
制御するプログラミング

などを行った上で、

現場にあわせた最適なロボットシステムとして設置します。

こうした多くのことを行い、モノづくりを支えるエキスパートな職種を**ロボットシステムインテグレータ**【通称:ロボットSler(エスアイアー)】と言います。



なぜ愛知県が…？



愛知県は、自動車製造業をはじめとする日本一のモノづくり県であり、ロボット製造業やロボットSIer企業についても国内有数の集積地です。

モノづくり現場だけでなく、ロボットSIer業界においても慢性的な人材不足に陥っており、新しい人材の確保は喫緊の課題となっています。

そこで愛知県では、今後も本県や我が国のモノづくりを支えていくために、独自に企画した「高校生ロボットSIリーグ」を2022年から開催します！

何をするの？

高校でチーム(10名以内)を編成し、愛知県内のロボットメーカーの産業用ロボットを用いて、それぞれの競技課題であるモノづくりを自動化するロボットシステムの構築を目指します。

ボールペン組み立て



お菓子の箱詰め



ギア部品組み立て



高校での課題研究の授業や部活動で取り組んでいただくことを想定し、約8ヶ月間かけて講習や実習を行った上で競技課題に取り組み、12月にAichi Sky Expoで成果を披露していただきます。

キックオフ講習会 (1日[土曜日])



共通講習 (3時間×5回)



基礎課題講習 (3時間×5回程度)



SIer企業見学会 (1日[夏休み])



シミュレーション講習会 (1日[夏休み])



応用課題講習 (3時間×10回程度)



成果披露イベント

- ▶ 日程：2022年12月10日(土)、11日(日)
- ▶ 場所：Aichi Sky Expo(愛知県常滑市セントレア5-10)



高校生ロボットSIリーグの推進体制

- ▶ 主催 愛知県
- ▶ 共催 未来ロボティクスエンジニア育成協議会
- ▶ 後援 経済産業省(申請中)、公益社団法人全国工業高等学校長協会
- ▶ 協力 株式会社デンソーウェーブ、株式会社FUJI、三菱電機株式会社、IDECファクトリーソリューションズ株式会社、SMC株式会社、エヌアイシ・オートテック株式会社、オムロン株式会社
- ▶ 特別協力 FA・ロボットシステムインテグレータ協会
- ▶ 運営 高校生ロボットシステムインテグレーション競技会実行委員会

動かすのは、きみの未来だ。

